

まちの話題

「さっぽろ松前会」総会開催

「さっぽろ松前会」の総会が、4月14日ホテルKKR札幌で会員約100名が出席し、盛大に開催されました。

札幌市近郊に在住されている方で組織しているさっぽろ松前会は、今年で設立30年の節目を迎えました。

当日は、さっぽろ松前会設立当初から会長及び名誉会長

としてご尽力された池田嘉久蔵さんに町長から感謝状が贈られました。

また、北海道無形文化財の松前神楽が披露され、参加者からは「お祭りに見に行きました。お獅子にかじられるのが怖かったです。」など、故郷の懐かしい話に花を咲かせていました。



天満谷貴之さんが創玄書道会賞を受賞



このたび、天満谷貴之さん（字松城）が、「創玄展」一科漢字部門で最高賞である創玄書道会賞を受賞しました。これは、松前町出身の書家、金子鶴亭さんが創設した創玄書道会が主催したもので、漢字部門では約千600点の応募の中から選ばれました。今回選ばれたのは「望楼」という作品で東京美術館に展示されました。

原口桜松街道を創る会がさくら功労者表彰を受賞

4月4日、原口桜松街道を創る会（会長佐々木安雄）が、さくら功労者表彰を受賞されました。

これは、（財）日本さくらの会（会長河野洋平）が、桜の植樹や愛護運動等にご貢献してきた団体や個人を表彰するも

ので、原口桜松街道を創る会が平成元年の設立以来、「桜松街道」と名付けた並木づくり活動を行い、国道沿いに町花「桜」と町木「松」を600本以上植樹して、下草刈りなどの管理をしてきた功績が認められたものです。



松前の情報員としてNHK感謝状贈呈

この度、北川聖治さん（字豊岡）が長年にわたり松前町の情報をレポートし、NHKの番組発展に寄与したとして、NHKより感謝状を贈呈されました。

平成12年からNHKの「ほつからん」函館のコーナーで、松前の自然などについて月に1回レポートを続け、松

前の情報員として活躍されました。北川さんは、「松前にはたくさん素材があり苦労は少なかったが、写真の撮影や関係機関へ内容を問い合わせるなど、取材にはかなりの時間を要し、大変だった」と話されていました。



松前藩屋敷オープン

江戸時代の町並みを再現した松前藩屋敷が、関係者約150人が見守る中、4月7日に開門式を行いました。

オープン初日は入館料が無料となり、藩屋敷内では農漁村生活改善グループや観光協会会員による、地元の食材を使用した料理が販売されました。

訪れた約千人の町民や観光



客は、さくらソーメンやホッケすり身ハンバーガー、すり身汁などに舌鼓を打っていました。

藩屋敷を管理する町指定管理者の松前観光協会足田会長は、「今年は、地場産品を使用した食材を提供し、松前の食文化も発信し藩屋敷の魅力を高めたい」とあいさつしました。

心身ともに温まる めつくめつく温泉まつり

3月17日、松前温泉休養センターでめつくめつく温泉まつりが開催されました。当日は、NPO法人松前まちづくりフォーラムによる焼き鳥などの軽食コーナーや松前の歌『松前城讃歌』を豊岡

の竹田夫妻が歌と踊りで披露するなどの歌謡ショーが行われ、大いに盛り上がりました。温泉と様々なイベントで楽しんだ方々は、心身ともに安らぎ、楽しいひとときを過ごしました。



84年ぶりに松前家の宝がもどる

このたび、松前家の宝である銅雀台瓦硯が84年ぶりに松前にもどってきました。銅雀台瓦硯とは、17700年前に中国三国志時代の曹操という人物が建てた宮殿の瓦で作られたもので、1923年に松前家の子孫が手放したあと、所在がわからなくなっていました。今回、所有

していた岐阜県の方が松前藩のものだと知り、町に連絡し判明いたしました。町では、太陽北海道地域づくり財団助成金で購入し、書を生かしたまちづくりのシンボルとしていきます。なお、銅雀台瓦硯は松前城資料館で展示されています。



ふれあい公園 「パークゴルフ場」オープン

4月7日、ふれあい公園「パークゴルフ場」がオープンしました。当日は、オープンを待ち望んでいた家族連れや愛好者など約80名が、今年の打ち始めを行い、しばらくぶりの芝生の感触を楽しんでいました。

昨シーズンは、約1万人の方がプレーを楽しみました。今シーズンも誰でも気軽に楽しめるスポーツとして、また、健康づくりのためなど、たくさんの方に利用されることを期待されています。

